

(公社)日本給食サービス協会会長賞

『一年生のための給食当番』

広島県広島市立安東小学校 六年 男子 玉置 勇矢

「わぁー来たぁー。」

一年生の教室の前にいったとたん、一年生に次々声をかけられました。

僕は、六年生になり、一年生の給食当番にも行くようになりました。六年生のクラスの給食当番と同じように、エプロンと三角巾をつけ、ご飯係、大おかず、小おかず係にわかれました。

一年生がずっと机についている所にお盆を配り、はしやストローを配ってあげました。六年生の当番の姿を一年生は、じっと見つめているので、とてもきんちょうしました。次に、ご飯、おかずを配ろうとふたを開けたとたん、量の少なさにとてもびっくりしました。これを均等にわけるのは、とても難しかったです。落ちついて考えると、僕たち六年生と一年生の体の大きさがずいぶん違うので、給食の量も違って、あたりまえなのです。

一年生は、手が小さくて、おかずを持って行く時に、こぼしてしまうこともあるかもしれないので、熱い大おかずだけは、六年生の給食当番が、一年生の席まで配ってあげることになっています。僕も一人一人の席まで配っていると、

「ありがとう。」

と声をかけられました。心がほっとして、うれしい気分になりました。僕には兄がいるけれど、弟や妹はいないので年下の一年生が、とってもかわいいです。

冷たい果物の冷凍パイナップルなどが出た時は、一年生が落としそうで、ドキドキしました。又、一年生は、右手にご飯、左手に大おかずなど、両手がふさがる状態で、お皿を持ってはいけない約束になっているそうです。六年生とは違い、一年生なりの約束だなと、思いました。

一年生の給食当番が終わり、僕たち給食当番も六年生のクラスに帰りました。給食の後片づけは、一年生がやってくれるので、僕たちも、自分のクラスで、少しゆっくりと給食を味わうことができます。あんな量で、一年生は本当に足りたのかなと、自分の給食の量を見て思いました。給食当番で使った僕たちのエプロンは、一年生が洗ってくれるので、とても助かります。

僕たち六年生と一年生は、学校で一緒にやることは多いけれど、この給食当番を通してさらに仲良くなり、お互い楽しい学校生活を送っていききたいです。これからも、一年生をかわいがってあげたいです。